オールカラー解説本

はじめての第三帝国

男爵いも 他

ドイツ第三帝国って?

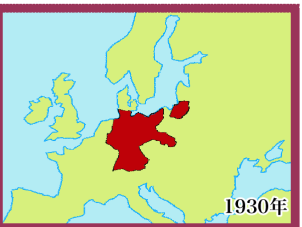
人類史にその名を刻んだドイツの独裁者アドルフ・ヒトラーが支配していた国家。「ドイツ人が最も優秀な人種」という謎理論のもと、約600万人のユダヤ人の犠牲者を出すことになるホロコーストを決行した。

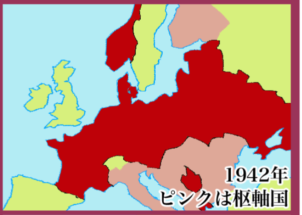
ココが面白い ナチドの世界

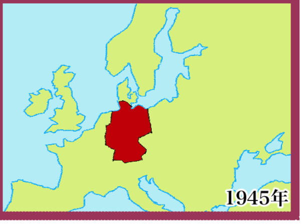
- 理解不能なイカれたメンツたち
- 大の大人の汚い権力闘争
- チート軍人たち
- 戦争責任の醜いなすりつけ合い

《概略》ナチドの起承転結

①政権奪取 1933〜39	政権を獲得したヒトラーは自身への権力集中を目論み、全権委任法を可決させて、事実上の独裁制を確立。国内では反ユダヤ政策を推し進め、国外には領土拡大の野望を向け、世界大戦を仕掛ける。
②WW2前半 1939〜43	ドイツは破竹の勢いで連勝を重ねる。国防軍が前線で戦う後ろで、占領地ではユダヤ人が虐殺されるように。勝利に酔いしれる中、スターリングラードで敗北を喫し、ドイツの戦局は悪化。
③WW2後半 1943〜45	華々しい緒戦から一転して、ドイツは負け続きになる。本土にすら攻め込まれて、首都ベルリンはぼろぼろに……勝てないと悟ったヒトラーは自殺し、ドイツは無条件降伏。第三帝国は崩壊した。
④戦後 1945〜	戦争犯罪を裁くニュルンベルク裁判で、ナチ党幹部や軍人が死刑判決を受ける。責任から逃れて潜伏するナチ党員もいたが、南米に逃亡していたアイヒマンは1960年に逮捕され、エルサレムで絞首刑に処された。



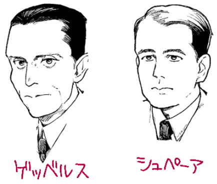




三大勢力

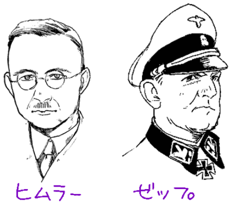
国民社会主義ドイツ労働者党（ナチ党）

ヒトラーが指揮した政党。ドイツ国内の政治を担当。
「ドイツ人が最も優秀な人種」というナチズムと過激な反ユダヤ主義を掲げ、プロパガンダを駆使してドイツ国民を洗脳した。
党幹部は「ヒトラーのオキニ」の座を巡って権力争いを繰り広げ、終始ギスギスしていた。



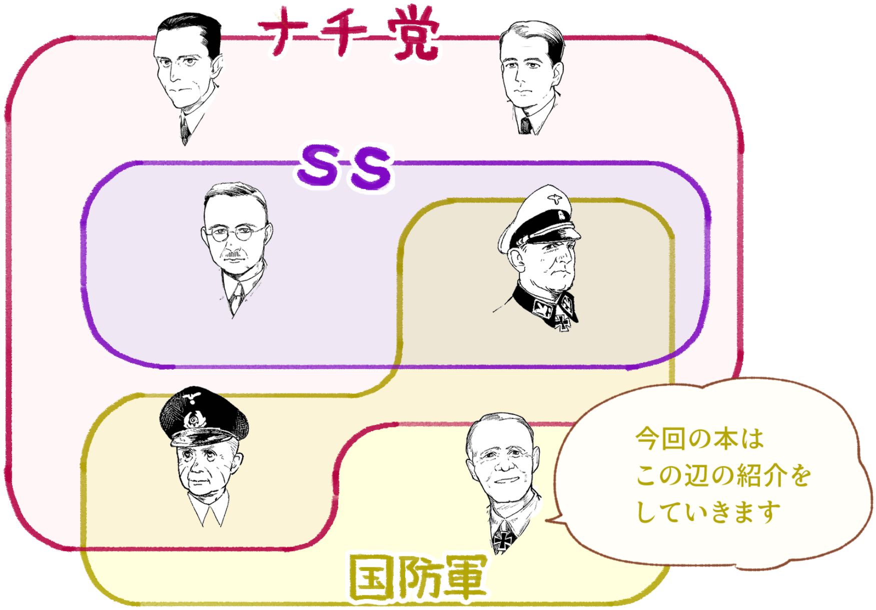
親衛隊（SS）

ヒトラーを護衛するために作られた組織。
「高身長の純粋なアーリア人」というエリートだけが入隊できた。
政権獲得後は警察と統合され、治安維持や諜報活動を担った。
WW2中にユダヤ人の大量虐殺（ホロコースト）を実行したため、犯罪組織認定されている。



国防軍

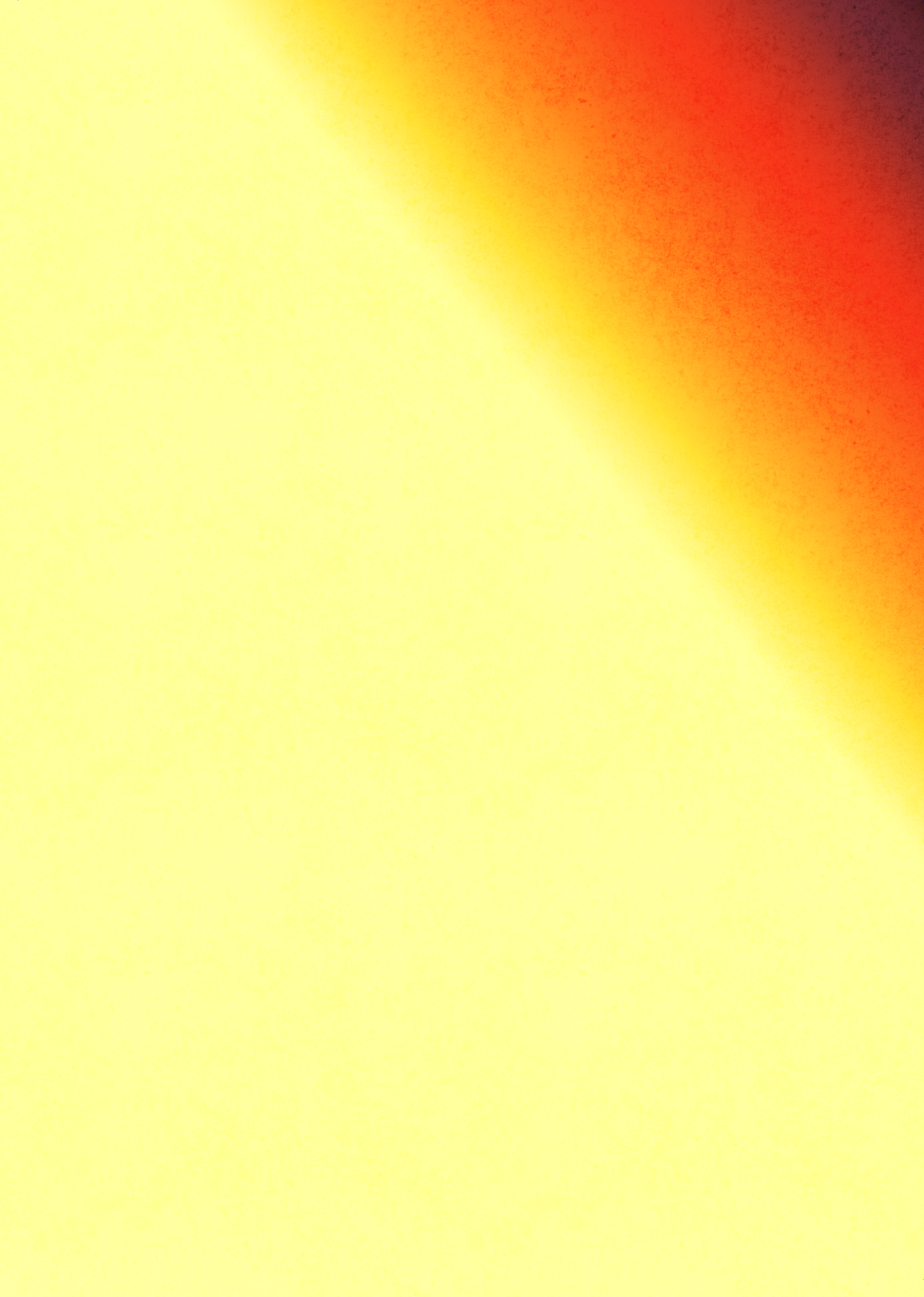
ドイツの正規軍（陸海空）。敵国への侵略とドイツ国家の防衛を担当。
チート軍人を多数輩出した。得意技は電撃戦。
当初ナチスとは独立した組織だったが、ヒトラーに反抗する将軍は粛清され半強制的にナチ化が進み、戦争犯罪にも手を染めることに。



はじめての第三帝国

目次

国防軍陸軍元帥 ロンメル……………………………………P8
国防軍陸軍元帥 マンシュタイン……………………………P16
国防軍戦車部隊の父 グデーリアン…………………………P26
国防軍最後の参謀総長 クレープス…………………………P32
国防軍海軍元帥 デーニッツ…………………………………P38
武装親衛隊ヒトラーのボディガード ディートリヒ………P44
国防軍と親衛隊………………………………………………P49
ホロドモール…………………………………………………P54
おまけ…………………………………………………………P58
後書き…………………………………………………………P64
参考文献………………………………………………………P65



ナチスドイツ 国防軍陸軍元帥

エルヴィン・ロンメル

(1891-1944)

絵/文：男爵いも

ナチスドイツの誇るチート軍人の代表格。

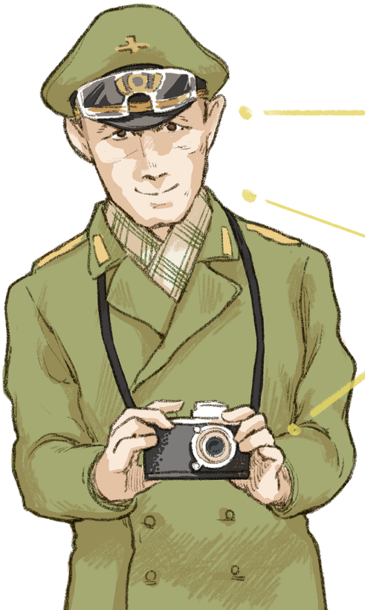
貴族社会が抜けない国防軍で、
中産階級・地方出身にも関わらず
陸軍のトップである元帥にまで昇格した。
西方電撃戦や北アフリカでチート級の戦果をあげる。
危険を顧みず陣頭指揮をする姿はまさに

最強の現場監督！

ドイツ国民を大いに湧かせただけではなく、
驚くべきことに**戦時中から国内外で英雄視**されていた。
(なんなら未だにアニメのキャラのモチーフになったりする。)

なぜ彼がここまで人気になったのか？
そして陰謀渦巻く彼の最期とは……

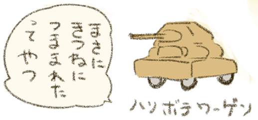
ナチスドイツで一番有名な将軍をご紹介！



ロンメルの得意戦術は圧倒的な**スピード**と
敵を欺く**奇襲作戦**。

早すぎて敵味方共にロンメルの部隊の
現在地が分からなくなるので、
ついたあだ名が「**幽霊師団**」
1940年のフランス侵攻では
1日に240キロという
高速でも走ってんのか
というスピードで進軍している。
（東京-浜松が大体250キロ）

1941年のアフリカ戦線では
ウォルクスワーゲンをハリボテ戦車に仕立て
砂漠を走らせて大軍を装い、
実際には物資・兵力を上回っていた
英国軍をビビらせ退却させた。
地理を活かし敵を欺くロンメルは
「**砂漠の狐**」と呼ばれることになる。



しかし…

待機命令が出ても勝手に進軍
したり、（命令を傍受してた敵軍が一番びっくりした。）
階級を重ねても、
前線で陣頭指揮をとり、行方不明
になるので度々司令部を困らせている。
戦死したと思われていたことも……

騎士道

連合国側ではなんと戦時中から
「ロンメルを尊敬してはいけない」
という指令が出されている。
このような彼への英雄視は
戦術の巧みさだけではなく、
何より**騎士道精神**に則った振る舞いからだ。

捕虜は丁重に扱い、
ドイツ兵と同様の治療を
受けさせ、酒を振る舞ったという話も。
時代が進むにつれ、非人道的な行為が
氾濫していく中、このような振る舞いは
敵兵までも魅了していったのだった。

また、ナチの掲げる
人種差別的な
思想に反対しており、
「ユダヤ系捕虜を虐殺せよ」という
ヒトラーの命令書をポッケにないないしてる。
（本国と離れてるのをいいことに）

国内外問わず英雄と呼ばれたロンメル。
本国ドイツでは「我らがロンメル」という
元祖キャラソンが作られるほどだった。
（流石バッハとベートーベンの国。普通にいい曲）

ロンメルとヒトラー

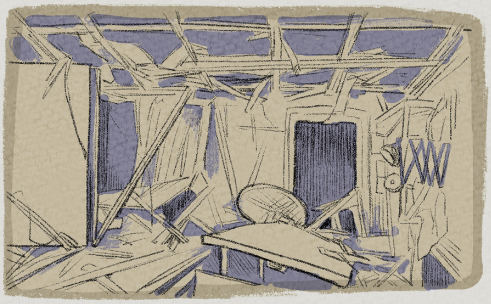
ロンメルはナチス党員ではないものの、
同じく**貴族出身ではないヒトラーに心酔していた。**
ヒトラーもロンメルの働きぶりを評価し、重宝した。
開戦初期までロンメルはヒトラーの護衛隊長も務めている。
2人はお互いのサイン入り著書を交換し合う仲で、
これが所謂、本当の相互さん…ってやかましいわ。
ヒトラーのオキニなので、散々上からの命令を無視しても
おとがめがなかったわけである。

しかし、戦況の悪化と共に
無謀な命令を繰り返すようになるヒトラーに
ロンメルは懐疑心を抱くように。
講和を提案するも耳を貸さず、
死ぬまで徹底抗戦を命じるヒトラーに
ロンメルは遂に見切りをつけるが…

ロンメルの最期

1944年10月14日 PM ?:??

ナチスドイツの英雄エルヴィン ロンメルは
唐突に、そして静かにその人生の幕を降ろした。
それは轟音鳴り響く戦場ではなく、
路肩に停められた車の中だった。



1944年7月20日 PM 0:42

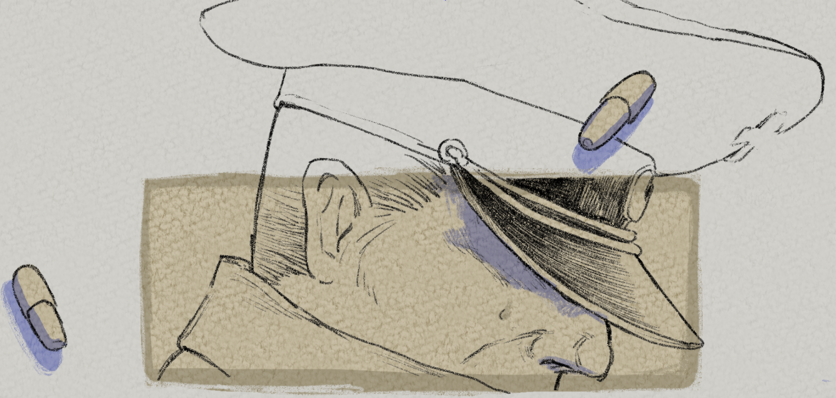
およそ3ヶ月前、
ヒトラー暗殺未遂事件発生
幸運にも軽症で済んだヒトラーは
軍の上層部による謀反に激怒し、
容赦ない粛清を行った。
一説には逮捕者は7000人にも登り、
その殆どが事件に直接関与していない
にも関わらず、処刑或いは強制収容所に
搬送されたという。

1944年10月14日正午

「彼ら」はヒトラーの指示によって
ロンメルの自宅を訪れた。

総統暗殺を企てた将校が協力者として貴官の名を口にしました
貴官は反逆罪で人民裁判にかけられます
死刑は免れないでしょう
ですが、国家の英雄たる貴方が反逆者だと国民に公にするのは、総統の思う所ではありません
我々は貴官が自らの罪を認め自決を選ぶのであれば、軍人としての名誉とご家族の安全を保障します
私は何も協力など…
—勿論、
反逆者の遺族はその限りではありません
元帥、
ご決断を

マンフレート
なに？
母さんを
よろしくな
ロンメルはこの時、
一人息子マンフレートに
家の鍵を託した



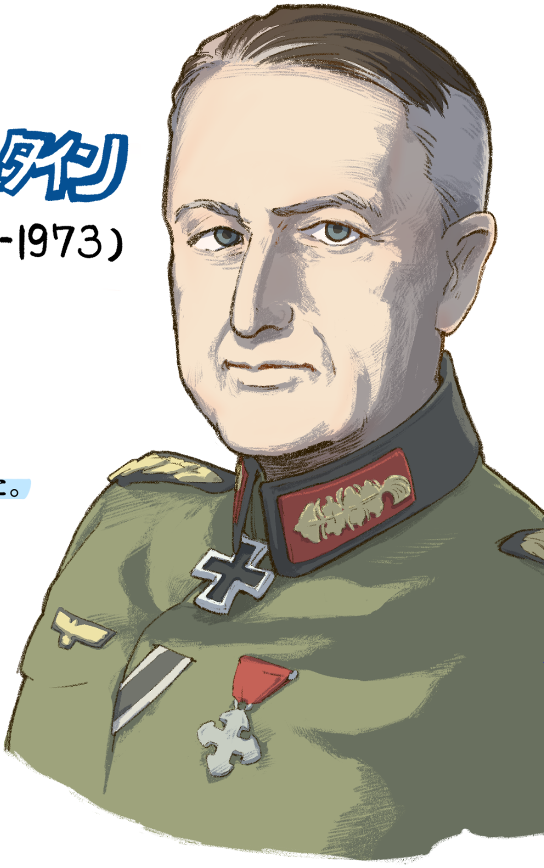
ロンメルは彼らが持ってきた青酸カリのカプセルを服毒した。
生命の火が消えんとする間際、
彼は喘ぐでも唸るでもなく、
啜り泣いていたという。

ナチスドイツ
国防軍陸軍元帥

エーリヒ・フォン・マンシュタイン

(1887-1973)

絵/文：男爵いも



国内からは「**ドイツ陸軍最高の頭脳**」
敵国からも「**我らの最も恐るべき敵**」と
評されるナチスドイツ国防軍きっての名将。
WW1で4年かかって倒せなかった仏を
1ヶ月で蹂躙した「西方電撃戦」を計画した。

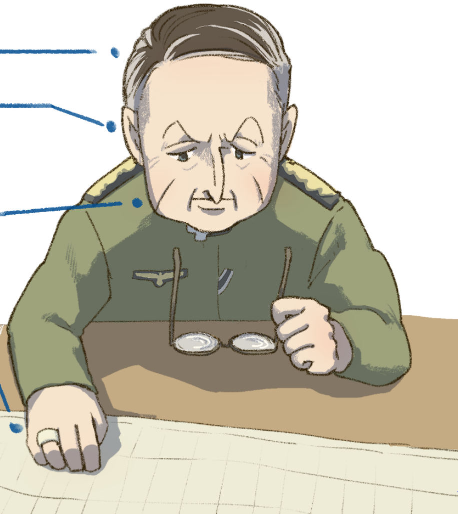
名家中の名家の生まれ。
正真正銘のスーパーエリートだが、
エリートらしい高ビーな性格で
無意識に上層部に敵を作りまくる男。
それでも「氷のような外面の下には、
優しく実は情に脆いと言えるような
人間性がある(部下談)」らしい。
ナチ党員ではない職業軍人だが
戦後裁判で有罪になるなど
とても一筋縄ではいかない将軍なのである。

「頭」
とても すごく いい。
だけではなく、教養人である。
芸術鑑賞がお好き。

「目」
悪い。
慣れない場所では
トイレが探せない。

「口」
悪い。
我が強く歯に物を着せない。
口が滑って総統を
ヤジったら左遷させられた。

「薬指」
愛妻家。
出会って3日で婚約
流石電撃戦のプロ



ドイツ陸軍最高の頭脳って？

VSフランス　~西方電撃戦~

WW1で長期戦の末、フランスに負けた経験から
マンシュタインは短期決戦の作戦を立てた。

1.通行不可と言われていたアルデンヌの森を
　無理やり通過させて
　奇襲と挟撃を同時に達成。

2.戦車中心の部隊を編成して、**従来では**
　あり得ないスピードを実現させる。
　(仏くんは時速4キロで歩いています。
　忘れ物に気付いた独くんは戦車で追いかけました)

…と言うように、あっという間に仏の戦線は崩壊。
22年前4年かかって倒せなかった相手を
たった1ヶ月で蹂躙した。

VSソ連　~第三次ハリコフ攻防戦~

長期戦に突入した1943年の東部戦線。
今度は独が**戦線崩壊寸前。**
そこでマンシュタインはあえて**撤退を指示。**
調子に乗ったソ連軍は深追いして
戦車の燃料がなくなり、隊列も伸び切ってしまう。

すかさずマンシュタインは
薄く伸びた側部を挟み撃ちして
場所によっては1:10もあった戦力差をひっくり返し、
ついでに戦車800両をパクった。
ソ連はまさにマンシュタインの手の上で
踊らされたのだった。
何ともなく見えるが、戦域がとても広く
北海道をぬいた日本全土くらいの面積で展開している。

ヒトラーと反ヒトラー

歯に物を着せない言動のマンシュタインは
ヒトラーに最もガチ議論できる将軍として知られていた
名門貴族のエリートVS美大落ち
相性がいい訳がない。

その裏でヒトラー暗殺を企てる反ヒトラー派の軍人たちは
ヒトラーに不満を抱くマンシュタインに接触を図る。
それに対しマンシュタインは
「プロイセン軍人は反逆しない」といって一蹴した。
マンシュタインは軍人として領分を超えることはしなかったのである。

他方、
マンシュタインが指揮する戦場や、
その後方の占領地域では、「絶滅戦争」と言わしめた
血みどろの暴力が繰り広げられており、
マンシュタインも**戦争犯罪と無縁ではいられない**のであった……

いい人？悪い人？

戦後、戦争犯罪人として裁かれるマンシュタイン。
彼が何を思ってどんなことをしたのか詳しく見てみよう。

戦地後方で行われた.
ジェノサイドについての
報告を無視

国防軍内のユダヤ人排斥が
決まった際、
ユダヤ人部下のために
建白書を提出

私の仕事は前線の指揮なので
後方地域については
関与しない

私は**人種主義者ではない**
彼は優秀な部下だ

撤退時における
占領地の焦土作戦
(街とインフラをぶっ壊して、
敵国に使わせないようにする作戦。)
と**住民の強制徴用**を指示

部隊に占領地の住民に
融和的に接するよう指示

戦争では**占領地の住民の協力が不可欠**だ
しかし撤退後にそれを**敵国に渡す訳には**
いかなかった

捕虜のブラックな処遇に
関する指令に署名

……覚えてない

戦死した部下の子供たちのために
基金を設立

結論:どっちつかずな人間臭さが魅力。
スーパーエリートが時代の荒波に流され、戦争犯罪に手を染めながらも、
持ち前の頭の良さを発揮していく姿を追うのが楽しいです(作者)

おまけ漫画「初会合」

総統に呼び出されて
はるばる来てみたら
リスケされてた
総統に
急用が入り…
ご容赦ください
じと
……
ゲ
8時間
待ちっ…ですか
司令部に
連絡すませ
ました
この大変な時に
何も出来ることが
ないとは…
シュタールベルク
こんな時、
やるべきことが
わかるかね？
え。
なんでしょう?
泳ぐのだよ
ドヤァッ
キラキラ
素晴しい
アイデアです
元帥!!
パァァッ

でも海パンを持ってきてないんですよ…
元帥おでかけセット
……
別にいらなくない？
？
元帥、尊厳を保ってください
私はともかく、元帥はまずいですよ！
君は私にこの美しい湖をただ見てるだけで満足しろと言うのかね
君はまたおかしなことを言うな！
やんや
やんややんや
これ何言っても無駄なやつだ……
裸の元帥は自ら脱ぐ。
行くぞシュタールベルク
ポーーン
元帥!!
せめて、コートを羽織ってから外に出てください

最っ高に気持ちいいです……
バシャ
バシャ
海もいいが湖は穏やかでいいな
ゲーロもいたらなぁ…
ん？
げ、元帥！橋の方に人影があります！
女性(スカート)はいるか？
いえ、
軍服だけです
あのズボンは将官の……！
元帥、あの方は恐らく……

…こんなところに人がいるとはね
如何にも、私がロンメルだ
君は？
スィー…
エルヴィン・ロンメル元帥です！
あなたは…！
！
パァァァ
ザッ
ロンメル元帥！やっと知り合いになれましたなぁ
それもそうだな。出よう シュタールベルク！
元帥、そんなことしては…！
ザパァ
そんなところで立ち話も何ですしよければこちらで少し話しませんか
マンシュタイン元帥 ずっとお会いしたいと思っておりました
いやぁ、私もです

元帥の…
元帥杖が…!!
しかし、ロンメル元帥、スルースキル高いな!!
A、北アフリカで慣れてる
ロンメル元帥は、ここで何をされていたんですか？
日光浴です
ペカ
山派の元帥も楽しそうで何よりです

ふむ。
もちろんです。私は今晩もここにきますよ
日光浴をしにね
ロンメル元帥、
今後のことで貴方ともっと話がしたい
また会って頂けますか？
うちの元帥は人見知りな上、ロンメル元帥とは経歴が全く違うから心配だったけど
気が合いそうでよかった
どっ
副官に人付き合いを心配される元帥
ところで、いい加減なにか着られては……
流石に突っ込まれた。